

消防だより

火

の用心

Tokamachi Fire Department

No.73



平成23年9月10日



今年に入り
3件もの大災害!

災害に負けない!

災害救助法 適用	2011.1月 2011.3.12 2011.7.28	平成23年豪雪 長野県北部地震 新潟・福島豪雨
-------------	-----------------------------------	-------------------------------

第22回消防ひろばを開催します

災害が発生したとき あなたは何ができますか?
消防ひろばで いっしょに考えてみませんか?

手を取り合い 災害に立ち向かいましょう!

数々の防災体験!

子どもが... 大人が...
楽しみ学べる!



特集

ゲリラ豪雨

集まれ

消防ひろばガイドブック

※中面がガイドブック
になっています→



写真) 平成22年度消防ひろば

ゲリラ豪雨

平成23年7月29日午後8時〜9時の間に、十日町市は新潟県観測史上の最高値を更新する1時間降水量121ミリを記録しました。市内全域で中小河川が氾濫し大きな被害をもたらしました。正しい知識で突然襲ってくる豪雨に備えましょう。

ゲリラ豪雨とは

集中豪雨の中でも非常に狭い地域の中で、短時間に驚異的な大量の雨が降る予測が困難な局地的豪雨のことを、ゲリラ豪雨と呼んでいます。

特徴と怖さ

ゲリラ豪雨は、雨そのものが強いこと以上に、降った雨が低地に大量に集まり、その地域に大きな被害をもたらします。

発生時期とメカニズム

季節的には、地上と上空の温度差が激しい夏場に多く発生します。また、夏の終わりから秋口にかけても多くみられます。

集中豪雨は発達した積乱雲がもたらします。積乱雲は垂直方向に発達するため、局地的な狭い範囲に激しい雨を降らせれます。雨の時間は短いものの、1時間に100ミリを超える猛烈な雨を降らせることもあります。



「雨量1時間に100ミリ

＝10センチ」

10センチくらい大した量には思えないかもしれませんが、

しかし、畳10畳のスペースに10センチの水が溜まった場合、これを1畳に集めると1メートルになります。

これが顕著に現れたのが、美雪町 地内飯山線高架橋下道路（写真中央）です。

普段から家の周囲はもちろんのこと、河川や橋付近、道路など低い場所を知っておくことも大切です。

水害！そのとき役立つワンポイントアドバイス

がけ崩れや浸水被害を防ぐために有効な土のう作りを紹介いたします。簡単な応急工法を覚えて被害を最小限に抑えましょう！

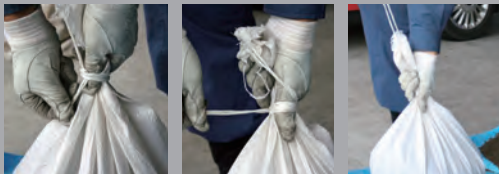
◆土のうの作り方

STEP1 土砂を入れます



土のう袋の約7〜8割程度（約30キロ）土砂を入れます。目印に線がある土のう袋もあります。

STEP2 ひもを結びます



土砂を入れたらひもを引き、袋の口を絞ります（右）。絞ったらひもを2〜3回まわし（中央）ひもの出口を上から下へ通してきつく締めます（左）。

できあがり！



土のう袋ができたら、上流側から結び口を隠すように、隙間なく並べます。

Let's Try!
水防工法!

鳴りやまない119番

今回の豪雨で約2時間半の間に約150件の119番通報が寄せられました。その多くが家屋への浸水被害でしたが、より緊急性の高い救助事案などを優先に出動しました。

出動しても、道路の冠水や土砂堆積、橋の崩壊及び渋滞などが行く手を阻み、現場に到着するまでかなりの時間を要しました。

自動車が動ける水深

今回の豪雨では車が動かなくなつた事例が多数発生しました。

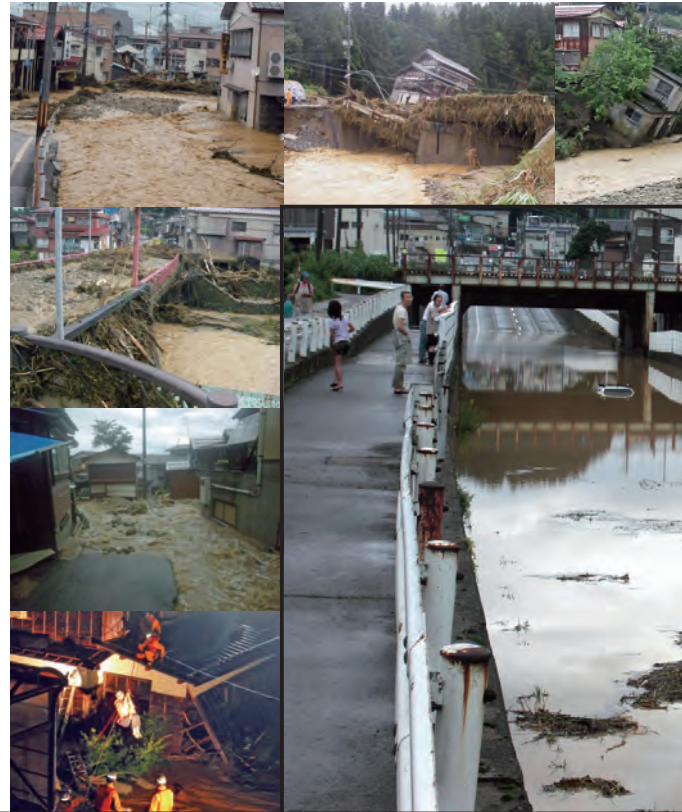
車は基本的に、水深がマフラーを超える危険とされています。マフラーから水が入り込み、排気ガスの出る力よりも流れ込んだ水圧が上回ることで、エンジンまで水が到達し、エンジンが停止してしまうからです。

マフラーの排気ガスの出口は、大体大人のすね付近の高さというのが一般的です。マフラーの位置を確認し、冠水した道路を走行できるかを見極めることが肝心です。

土砂災害

今回の豪雨により各地で土砂崩れも多く発生し、道路や住宅に土砂が流れ込む被害が多く発生しました。

特に今年は3月12日に発生した長野県北部地震の影響で、地盤が緩んでいたこともあり、がけ崩れや地滑りが起こりやすい状況でした。豪雨から3日後の8月2日(火)



未明には、十日町市田麦地内で大規模ながけ崩れが発生(写真右上)。付近の住民から話を聞くと、がけから小石などが落ちる前兆現象もあつたようです。「沢や井戸の水が濁る」「地面にひび割れができる」などの「地面にひび割れができる」などの前兆現象に気づいた場合は、市役所、町役場などに通報するとともに、危険が迫っているようであれば、速やかに避難しましょう。

「ごんなごとは初めてだ」 雨が集まり凶器となる!

◆水のうの作り方

あつ土のう袋や土砂がない! このような方法もあります!

STEP1 袋に水を入れます



家庭用のなるべく大きいゴミ袋を二重にして、その中に半分程度水を入れ口をしっかりと絞ります。

STEP2 水のうを並べます



浸水しそうな個所に隙間なく並べて使用します。※水深が30センチ以上又は土砂災害には向きません。

水のうをさらに強化!



ボーズが使用できる強度を高めるために、この増用します。

番外編



土の入ったプランターをビニールシートで巻き込み並べて使用する方法があります。



さすな
優勝!
に導かれた
十日町市消防団
中里方面隊第4分団

去る8月7日(日)柏崎市で行われた第62回新潟県消防大会ポンプ操法競技会に十日町地区支会代表として中里方面隊チームが出場しました。今大会は実際に放水する「水出し操法」初年度の記念すべき競技会で、県内の強豪18チームがひしめく中、見事優勝しました。

中里方面隊第4分団

第62回ポンプ操法競技会に向け、第4分団の精鋭10人(写真上)を選抜し、1月より訓練を開始する。多い時は週6日の訓練を行い、切磋琢磨しながら過酷な訓練に励む。6月末に5人の正選手が決まり、平均年齢26・4歳と若いチームを結成。競技会では、一糸乱れぬ操法で見事優勝を勝ち取る。

今までを振り返って

指揮者 吉楽一馬さん(32歳)
短かった：競技終了後の「われ」の号令を出すとき、「これまでの訓練を思い出し、「まだまだ終わりにたくない、もっとみんなと操法がしたい」と気持ちが高ぶります。少し間があいたような気がします。訓練期間中、豪雪、地震、水害と大きな災害が続いた中での出場で、絶対に明るい話題を地元を持って帰りたいという思いで頑張りました。

呼吸を二つに

- 2番員 吉楽隆太さん(22歳)
- 3番員 藤田克志さん(29歳)
- 補助員 阿部那由多さん(21歳)

「2・3番員は動作を合わせる場面が多く、訓練を始めた当初は合わないことが多かったが、お互いの息遣い、足音を感じることで日に日に二人の息が合っていくのが分かった。」と兄弟のように語ってくれた。

優勝が発表された時は

1番員 阿部圭介さん(28歳)
6位から順位が発表されたので最後まで呼ばれなくて、ダメか：と思った矢先に1位で呼ばれました。なので、その瞬間は実感がなく、指揮者と目が合いようやく理解した。大歓声が上がった応援団のもとへ、いち早く駆けつけたかったのが本心でした。

優勝の秘訣は「絆」

分団長 吉田晃さん(55歳)
「期間中、選手は自分の子どもなんだと思って、時に厳しく、時に優しく、そして、ともに苦楽を分かち合ってきました。そして、中里方面隊全分団の協力が何よりも強い味方となりました。一番辛かったのは、選ばした10人の中から出場選手を決める時でした：この時は心を鬼にしました。選手がレベルアップできたのも、優勝を手にするこゝろできたのも、ほかの5人と方面隊の協力「絆」があったからこそだったといえます。」



結果報告を受ける吉田晃分団長

赤色灯

県ポンプ操法競技会を 担当して

今回出場した中里方面隊第4分団(貝野地区)は、若い消防団員が多く、またポンプ操法に力を入れている地域でもあり、優勝するチャンスがあるのではと感じていました。選手は、雪の降る1月から訓練を積み重ね、仕事で疲れている中、ほぼ毎日の過酷な訓練を行ってきました。正直、選手が怪我をしないかと心配し眠れない日々が続きました。訓練では、目標タイムを決めてのタイムアタック。目標タイムに届かない日々。「どこを切り詰めれば?」「もっとタイムを縮められないか?」

選手のみならずその場にいる全員で試行錯誤をしながら、多くの人たちの知恵と工夫で乗り越えてきました。そして迎えた競技会当日、選手は本当に素晴らしい、文句なしの力を発揮しました。成績が発表され選手が応援団のもとに戻ってきたときの選手一人ひとりの笑顔は一生忘れられません。またいつか、こんな感動を体感できる日がくることを期待しています。(池内)

消防だより 火の用心
発行 十日町地域消防本部
編集 総務課庶務広報係
〒948-0036 新潟県十日町市北新田1番地10
電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-kouki.jp/ Eメール tfd11@tokamachi-kouki.jp